

シルバー人材センター



シンボリックマーク

ニュース

ゆんたく

〈発行所〉

公益社団法人 沖縄市シルバー人材センター

〒904-2155 沖縄市美原 3 丁目 1 番 1 号

電話番号 (098) 929-1361

http://www.okinawasisi.com

7 月末現在の会員数 556 人

(男性 342 人・女性 214 人)



安全で安心な就業環境づくりを 安全・適正就業推進大会開催

沖縄市シルバー会員の健康と安全を守るため、令和元年度「安全・適正就業推進大会」が 7 月 16 日、沖縄市農民研修センターで開催された。参加者は 115 人（昨年は 140 人）。大会は高吉満弘さんの司会進行で始まり、上原秀雄理事長の挨拶の後、小橋川啓安全・適正就業委員長から事故状況の報告があった。体験発表では公園草刈第 6 班就業会員の高江洲徳秀さんが、日頃実践している事故防止対策などについて語り、安全の重要性を訴えた。

最後に、沖縄警察署交通対策課の吉元弘一警部補が「高齢者の交通安全について」と題して特別講話を行った。

(2, 3 面に関連)



上原秀雄理事長挨拶

本日は、安全を何よりも優先する立場から、私もシルバー人材センターの安全・適正就業をさらに推進し、それを再認識する重要な大会であります。その目的とするところは、すべての会員の皆様が、事故のない安全で安心な就業環境づくりに取り組み、お互いの会員同士として一層の意識の高揚を目指していくものであります。

さて、年号も変わり令和という新しい年度に向けて、本日は、新たに出席する日であります。本センターは、ただ今「150 日無事故」が続いております。引き続き、絶対無事故、安全で安心な就業を目指し、その誓いを新たにする日でもあります。本日より再出席を期して、所期の目的が達成されますよう、再確認していこうではありませんか。

全国シルバー人材センター事業協会でも取り上げられています。ハイヤリとしたり、ハットしたりするのは、決して偶然の出来事ではなく、その前触れが必ずあるという現象を指したものであります。その現象に気づかず疲れをためたり、無理をしたりして、自分の体調を整えることができず事故に遭遇するというものであります。この「ヒヤリ・ハットの法則」という現象を回避するためにも、決して無理をせず疲れをためないよう、その対策に十分気を付けていただきたいと思います。

とりわけ、お互いの気遣いや声掛け、日頃のコミュニケーションを大切にしたいとお願ひするものであります。どうか、会員の皆様、ひとり一人の日々の体調管理を怠らず、素晴らしいシルバー人生を送っていただくことを心から祈念申し上げ、ご挨拶いたします。

で就業の確保を！ 多彩な取組み

“安全・適正就業強化月間” 出発式 草刈、公園清掃グループ会員26人参加



「安全・適正就業強化月間」初日の7月1日、シルバーワークプラザ駐車場に草刈、公園清掃グループの会員26人が集い、出発式を行った。昨年度発生した事故の反省を踏まえ、事故撲滅に向けて参加者全員で誓いを新たにしました。

上原秀雄理事長は「今のところ無事故記録が135日となっているが、昨年は重篤事故が発生しており、どんな状況でも常に安全を心掛けるということを肝に銘じてほしい。特に熱中症には、しっかり対策をして健康管理も万全に」と会員の安全就業を強調した。続いて、浜比嘉宗明副理事

長は「夏場を迎え、熱中症には気を付けながら作業はお互いが連携して安全に就業することが大事。また、来る16日開催の安全・適正就業推進大会には、多くの会員が参加していただくように」と呼び掛けた。

最後に、公園草刈第6グループリーダーの平良好市さんが「眼前掲示の安全就業心得十力条を示しながら、安全第一の適正就業で事故ゼロを目指そう」と力強いガンバロー三唱で

「就業を通して安全第一を再確認！」 高江洲徳秀さん(山内中校地区)が体験発表



私は出身地を泡瀬の高江洲ですかとよく聞かれるが「山原のタカエス」と言っています。

これまでの就業場所は倉浜の最終処分場でした。そこでは、ビン類の仕分けやベッド、ソファ、イスなどの解体作業をしていましたが、先月の6月から草刈班として配属になりました。これからの新しい仕事に対しては、事故防止に対する心構えとその取り組みについて、自分自身のこれまでの経験を踏まえながら、先輩方の教えと手ほどきを受けながら仕事につなげていけたらと思っています。そうすることによって、楽しく働くことができると信じているからです。

草刈班の一日の始まりは、就業前のフジオ体操に始まり、ミーティングでは作業の段取り、道具の下準備などの確認です。作業に入ると、ブロワーや熊手、ブルーシートなど道具の使用方法、また慣れない刈払機の取り扱いなど、なかなかうまくいかないところが多々あります。そこは同僚から色々と教えていただきながら、作業道具を正しく使用できるようにすることで安全確保に努めています。

また、作業を安全に進めるために、危険があるときはベルを吹くが、すぐに察知し素早く反応できるようにしています。こうして一日の作業は無事に終了します。

以前に勤めていた職場では、壁に「安全第一」というスローガンがあり、一年を通じて掲げられていました。その時は、無意識に見過ぎていたようで今にして思えば、日々の強い安全意識こそが何より大事であると痛感します。

最後になりますが「安全とは、あぶなくないこと。無事であること。第一とは、最も優れていること。最も大切なこと」ということを申し上げて体験発表を終わります。

平成29年度～31年度 シルバー人材センター全国統一安全就業スローガン

「事故防止、急ぐな、あせるな、気を抜くな」

健康と安全・安心
心を一つに特別
講話

認知・判断のミスが事故招く



特別講話は、昨年に引き続いて沖縄警察署交通対策課の吉本弘一さんが講師をとめた。

令和元年6月30日現在、県内で起きた人身事故発生件数は1832件、負傷者は2142人に上る。死亡事故は9件で、二輪乗車中6件、歩行者1人、高齢者3人。夜間の事故が4件となっている。その他に24時間経過後の死亡3人、30日以内死亡者が12人を数え、前年度に比べ発生件数はいずれも軒並み減少している。本県は、**路上寝・泥酔者**110番件数が多い。

平成30年における人身事故の類型として追突が1574件、出会い頭が905件、右左折時が554件、その他1401件となっている。ちょっとした不注意・油断・気のゆるみが原因。**高齢ドライバー**の交通事故が相次ぐ中、特に交差点での出会い頭事故防止は大きなポイントである。そのためには「**徐行**」や「**一時停止**」でしっかり安全確認することが必要である。また、夕暮れや夜間に身を守るため「**反射材**」で自分の存在をアピールすることも大切。

交通事故防止の基本は ①よく見る（車には死角がある）前方不注視、安全不確認、動静不注視 ②自分の存在を知らせる ③危険予測運転（運転中遭遇するあらゆる状況確認）学校や公園周辺、駐車車両の陰からの飛び出し ④ルールとマナーの遵守 ⑤事故を起こさないとの意識を持つ

県シルバー人材センター連合も安全・適正就業推進大会開催
当センターから上原理事長ら役職員が参加

県シルバー連合主催の令和元年度シルバー人材センター安全・適正就業推進大会が7月3日、浦添市でこホール市民交流室で開催され、当シルバーセンターから上原秀雄理事長以下、安全・適正就業委員や公園草刈G各リーダーなど14人が参加した。大会は、県シルバー連合事務局長による平成30年度安全・適正就業状況報告の後、中部徳洲会病院の曾根史郎看護師長が「熱中症について」と題して講演を行った。（7面に講演概要を掲載）



比屋根小下校時安全パトロール 児童の安全を見守る

美東・東中校地区

地区活動



(写真前列右から) 照屋勉教頭、饒平名良雄地区長、桑江良次さん、新垣和子さん、義元得一さん、仲宗根昌栄さん、喜屋武盛正さん、垣花常次さん

美東・東中校地区(饒平名良雄地区長)は6月19日、比屋根小学校(志堅原敦彦校長)の下校時安全パトロールを実施した。梅雨時の蒸し暑い中、地区会員7名が参加して、地区内の学校周辺や通学路を見回った。照屋勉比屋根小教頭は「ボランティアで学校周辺をパトロールしていただくことで、子供たちの防犯意識も高まる。大変ありがたいです」と感謝の言葉を述べた。



梅雨空に映える花 あじさいを堪能 22人がピクニック

越来・宮里中校地区

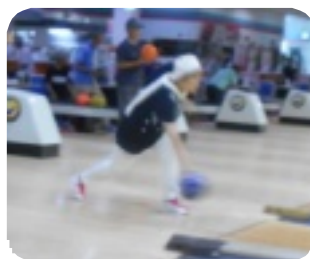
越来・宮里中校地区(八幡勝地区長)は6月22日、本部町伊豆味の「よへなあじさい園」へピクニック。会員やその家族22人が参加した。この日は、梅雨終盤の折から断続的に雨が降りしきる中、元気に咲き誇り、SNS映えならぬ梅雨映えするあじさいに皆うつとり。



美東・東中校地区

美東・東中校地区(饒平名良雄地区長)は6月30日、ドラゴンボウルで今年度1回目のボウリング大会を開催した。ハンディキャップによる2ゲーム制で21人が参加。優勝は女子が小底君子さん、男子は197点のハイゲームもあつて前理事長の桑江良哲さんが圧勝した。

**優勝は桑江良哲さん
女子は小底君子さん**



見事! 高得点で男子優勝の桑江良哲さん(写真右)と華麗なフォームで女子優勝の小底君子さん



入賞者

	男 性	女 性
優 勝	桑江 良哲	小底 君子
2 位	山城 正幸	外間 順子
3 位	仲 西 弘	新城 正子
4 位	川満三喜男	金城 京子
ラッキー7賞	義元 得一	-
ブービー賞	桑江 良次	-
10位(当日賞)	宮城 幸雄	-
20位(〃)	垣花 常次	-

地区活動

ボウリング大会で親睦交流・健康増進



美里中校地区

美里中校地区(金城吉信地区長)は6月30日、ドラゴンボウリングセンターでボウリング大会を開催、15人が参加。儀間泰夫さんと石川正松さんがハンディなしの2ゲームで共に314点をマーク、各ゲームのスコア差が僅少だった儀間さんが優勝。

儀間泰夫さんが優勝

入賞者

優 勝	儀間 泰夫
準優勝	石川 正松
3 位	池味 謙次
ラッキー7賞	砂川 晃一
ブービー賞	上 地 勇

優勝した儀間さんの見事な投球フォーム



第4回
理事会各項目とも減少続く
―6月実績―

令和元年度第4回理事会が7月23日、シルバーワークプラザ会議室で開催された。議案第1号「正会員の入会」については7人(男性5人・女性2人)が承認された。その結果、7月23日現在の会員数は556人(女性214人・男性342人)となった。なお、6月退会者は8人。

令和元年6月の主な実績では、会員数549人で25人の減(▲4%)、就業実人員330人で12人の減(▲3%)、就業延人員3701人で351人の減(▲9%)、配分金約1779万円で約229万円の減(▲12%)、契約金額約2216万円で約260万円の減(▲11%)となった。

(いずれも対前年同月比)

〓 全国統一スローガン 〓

「事故防止、急ぐな、あせるな、気を抜くな」

無事故記録

平成31年2月13日〜
令和元年7月23日現在

157日

桑江良哲さん(美東・東中校地区)が受賞
～令和元年度市民憲章実践者表彰式～

表彰状を手にする桑江良哲さん

沖縄市民憲章推進協議会主催の「令和元年度市民憲章実践者表彰式」が5月27日、市民会館中ホールで行われ、当センター会員で前理事長の桑江良哲さん(美東・東中校地区)が「交通安全対策活動」の分野で表彰された。これまで地域交通安全活動推進委員として長年にわたり、交通安全運動をはじめ、交通安全関係のイベントや地域に密着した諸活動に大きく貢献したことが認められた。

受賞者を代表して挨拶を行った桑江さんは「市民として希望と責任をもって今まで活動してきた。安心・安全な住みよい地域づくりのためにも、今後とも頑張りたい」と語った。

新入会員紹介

7月23日付で7人(女性2人・男性5人)が新会員として入会しました。
地区会員の皆さんよろしく。

諸見里 伸一	(安慶田中校地区)
金城 正博	(安慶田中校地区)
伊礼門 弘次	(越來・宮里中校地区)
宮里 隆	(越來・宮里中校地区)
當山 静子	(越來・宮里中校地区)
玉城 信子	(コザ中校地区)
友利 岩雄	(安慶田中校地区)

「刈払機取扱作業者に対する
安全衛生教育」のお知らせ

〃 技術・技能及び
安全面の向上を目指す 〃

- ・ 開催日 令和元年8月28日(水)
- ・ 午前9時〜午後4時
- ・ 場所 シルバーワークプラザ会議室
- ・ 参加希望者は8月26日(月)までに事務局へお申し込みください。

健康
講話「急増する熱中症」《前編》
水分補給はこまめに!!

熱中症になりやすい人

- ・脱水症状のある人
- ・高齢者
- ・肥満の人
- ・過度の着衣の人
- ・普段から運動していない人
- ・暑さになれていない人
- ・病気の人（心臓病、高血圧のある人）
- ・がんばり過ぎる人

高齢者の脱水兆候

- ・脱水症状の兆候
- ・喉の渇き
- ・口内の渇き、ねばつき
- ・ふらつき感や頭痛
- ・疲労感
- ・集中力の低下
- ・排尿の回数、尿量低下
- ・涙が出ない
- ・肌の乾燥

高齢者への水分補給で
気をつけるポイント

- ・喉が渇いていなくても、1日を通じて水分を摂るように勧める
- ・掴みややすく倒れにくい、丈夫なコップやグラスに、高齢者の好きな飲み物を注いで、近くに置いておく
- ・水分量の多い食事を提供する。スープ、アイスキャンディー、ゼリーなど、水分量の多い食事をできるだけ頻繁に摂れるようサポートする

中部徳洲会病院
曾根史郎 看護部長



熱中症の発生場所

- ・住宅 40.9%
- ・道路 25.7%
- ・仕事場 9.3%
- ・公園、運動場 9.7%
- ・学校 5.5%
- ・コンビニ 5.4%
- ・その他 3.5%

熱中症による搬送者数

- ・18歳以下 12%
- ・19～64歳 40%
- ・65歳以上 48%（内65～74歳が28%で75歳以上は72%に上る）

熱中症とは、高温多湿の環境下で、体内の水分や塩分のバランスが崩れたり、体温調整に支障をきたして起こる疾患や障害の総称で、熱中症は年々急増しています。その背景にあるのが「①真夏日、猛暑日、熱帯夜の増加、ヒートアイランド現象 ②高齢者、一人暮らし、経済的困窮者など熱中症弱者といわれる人の増加 ③熱中症という言葉の認知度が上がった」ことによるものです。

熱中症を疑う症状

- ・めまい、失神、立ちくらみ
- ・筋肉痛、筋肉の硬直、筋肉のこむらがえり
- ・大量の発汗、高体温
- ・頭痛、気分の不快、吐き気、嘔吐、倦怠感、虚脱感
- ・意識障害、けいれん、手足の運動障害

体に入る水と体から出る水

体内に入る水分

飲み物
約1200ml
IN
食べ物
約1000ml
IN

体内で作られる水分
約300ml

体内から失われる水分

OUT
呼吸・蒸発
約900ml
OUT
尿・便
約1600ml

1日に出入りする水分量は約2500ml (2.5L)

次号の《後編》は予防と対処法について掲載



就業日報は、作業が終わり次第、事務局に提出願います。
月末まで作業した人は、翌月の1日には提出するようにして下さい。
会員番号の誤記入が無いように、もう一度確認願います。

就業日報を提出して!

60歳! 人生これから! シルバー人材センター 募集中!!

「この歳で働ける!仲間が出来た!孫に小遣いをあげられた!」年をとると実感も時間もユッタリと訪れます。60歳以上、沖縄市在住で健康で働く意欲のある方ならどなたでも歓迎。安全で簡単、軽易な仕事が待っています。ぜひお話を聞きに来てください。

毎日なにも
することがない!
退屈だ!

でも、
きつい仕事は
ムリ!

1週間に**2・3日**
働けたらいいのに!



現在のシルバーでの主な仕事

- ・軽い労働
- ・家内外の掃除、片付け
- ・草刈り、植木の手入れ
- ・大工仕事、他
- ・一般
- ・電話受け付け
- ・パソコン、スマホ講師
- ・宛名、賞状書き
- ・訪問介護
- ・その他いろいろ



お問い合わせ・入会相談

毎週 月曜日・水曜日 午前10時～午後4時

公益社団法人 沖縄市シルバー人材センター

〒904-2155 沖縄市美原 3-1-1

TEL: 929-1361 FAX: 929-1366

◇ 8月の予定 ◇

- ・9日(金) 午前10時
新会員入会説明会
- ・23日(金) 午前10時
理事会
- ・28日(水) 午前9時
刈払機取扱い作業者
に対する安全衛生教育

編集後記

夏本番。就業現場の暑さは日に日に増していることだろう。先の安全・適正就業推進大会では、安全最優先の事故撲滅宣言とともに熱中症対策に万全を期す就労が強調された。自分の健康は自分で守る、それしかない。車の運転もそうだ。高齢者ドライバーによる交通事故が多発し、社会問題化している。私たちSC会員には他人事ではない。車社会の本県では車は欠かせないだけに、いろいろ考えざるを得ない。加齢に伴う身体機能や認知機能の低下などをよく自覚し、また運転技術の過信にならないことも大切だ。

酷暑の折、ご自愛とご健勝を。

編集

東條 正躬

大城 博